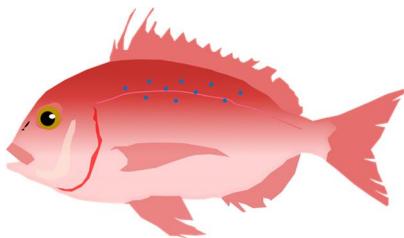


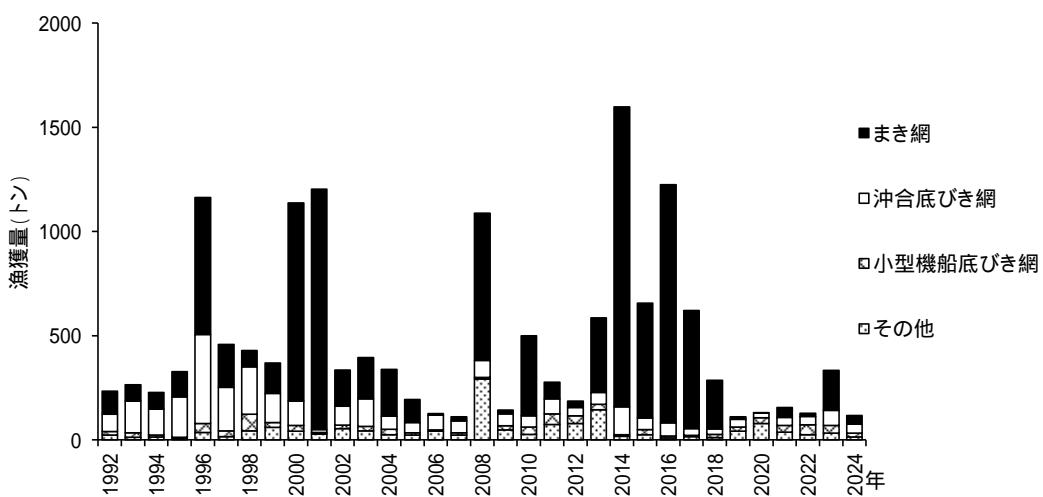
千葉県 沿岸重要水産資源 令和7年度漁獲動向

チダイ



- まき網、沖合底びき網、小型機船底びき網などで漁獲される。
- 最大で40cm程度まで成長するが、千葉県周辺海域における年齢と成長の関係はわかっていない。
- 産卵期は北ほど早く、秋田県、山形県では7月から10月、九州西海岸では9月から11月とされるが、千葉県周辺海域における情報はない。

漁獲量

県内主要港における漁法別漁獲量の経年変化
(属地:千葉県調べ)

- 千葉県主要港におけるチダイ漁獲量は1992年以降、109t(2007年, 2019年)から1,597t(2014年)の間で変動しており、増減が激しい。
- 1,000t超となるような漁獲量の多い年は、まき網による漁獲が大半を占めており、全体の漁獲量はまき網の漁獲量に左右される。
- まき網による漁獲を除くと、50t(2001年)から504t(1996年)の間で変動し、銚子・九十九里地域での漁獲が主体になっている。
- 沖合底びき網による漁獲はまき網に次いで多かったが、1996年に427tを記録して以降、減少傾向にあり、2024年の漁獲量は43tであった。
- 小型機船底びき網の漁獲量は1998年に79tを記録したが、その後は数tから50t程度で推移しており、2024年は18tの漁獲であった。

備考

- 本票の漁獲量は他県船によるものも含むため、属人集計の漁獲量とは傾向が異なる。